東秩父中学校だより

村の宝（子ども）が輝く学校

令和８年７月１日
第　４　号
文責　田端　隆二

学校中が救命サポーター　山下誠二先生いのちの授業

６ 月 19 日（金）さいたま市から山下誠二先生をお招きして命の授業（救命教育）をしていただきました。一昨年もご来校いただきましたが、山下先生は日本 AED 財団の理事でもあり、体育活動時における事故対応テキスト～ASUKA モデル～の作成に大変ご尽力された先生です。

2011 年 9 月、さいたま市の小学校で 6 年生の桐田明日香さんが駅伝の課外練習中に倒れ、救命のチャンスを逃したまま帰らぬ人となるという大変悲しい事故がありました。検証の結果、明日香さんが倒れた直後に「けいれん」や死戦期呼吸と呼ばれる「ゆっくりとあえぐような呼吸」があったために教師らは心臓が止まっているとは思わず、校内にあった AED（自動体外式除細動器）を用意したにもかかわらず、使用しなかったことが分かりました。この悲劇を二度と繰り返さないために、遺族と山下先生を含む教育委員会、専門家が協力して生み出されたのが ASUKA モデルです。「迷ったらすぐに胸骨圧迫と AED」という指針を明確に示し、教師だけでなく児童生徒を含めた学校全体で命を守る体制を作り上げました。

山下先生からは、心停止が起きてから何もしなければその救命率は 1 分で10%減少すること、つまり 10 分すぎるとほとんど助からないことなどが話され、胸骨圧迫などの対応は一刻を争うことを確認の後、全校の生徒に胸骨圧迫の仕方、AED の使い方をご指導いただきました。また、小学生が自宅で意識を失った父親を救った例や、中学生が休日の部活動中に倒れた顧問を助けた例などを挙げていただき、生徒たちは皆、自分事としてとても熱心に取り組んでいました。

ところで、東秩父分署には救急車が 1 台しかありません。その1台が出動していれば救急車は他の市町からくることになり、まず 10 分で到着することはできません。救命率から考えると何もしなければ誰も助からないことになります。この間に何ができるかが生死を分けるのです。

また、現在の本村は人口 2300 人弱、2人に1人は高齢者（65 歳以上）です。そして、前回と今回で救命講習を受けた生徒は卒業生も含めて 55名が救命サポーターとして、もしもの時には村民の命を救える大変貴重な戦力となるはずです。

小さな村にたった1つしかない、とても小さな本校です。隣町の学校と同じようにできないことはありますが、槻川小学校と共に小規模校の最先端の先駆者として、この規模でなければできない、もしくはこの村でなければできない、教育活動を、積極的に行っています。今回の活動はほんの一例であることを、保護者の方や地域の方に少しでも認識していただければ幸いです。

追伸:村内の人たちは、もしもの時に一番近いAED設置場所（施設）はすぐにわかるのでしょうか？本校にも AED はありますが、校舎の昇降口の中です。もし、夜間や休日の時にはだれもが使用できる状態ではありません。逆に、夜間や休日に使用できる AED は村内にいくつあるのでしょうか？「救える命」が「救えたのに・・・」とならないことを願ってやみません。



比企地区硬筆展

６月18日（木）ときがわ町立玉川中学校において比企地区硬筆審査会が行われました。本校からもきれいな作品、力強い作品が出品されました。

結果は右の通りです。作品は昇降口に展示する予定です。

<特選>
1年 1名
<優良>
3年 1名 2年 3名1年 1名

学校総合体育大会比企地区予選

６月12日から 14日まで、3年生にとって最後の大会になる学校総合体育大会比企地区予選（球技・武道の部）が、19日には（陸上の部）が行われました。どの種目も最後まであきらめず、一丸となって3年生の花道を飾ってくれました。保護者の皆様も、最後まで熱い声援をありがとうございました。

<バスケットボール>
1回戦
対 東松山南中 惜敗

<バレーボール>
予選リーグ 0勝3敗

<陸上> 4位 男子砲丸投げ （県大会出場）
5位 女子100mH （県大会出場）
8位 女子砲丸投げ
8位 男子砲丸投げ







小中合同農業体験

６月12日小中連携事業の一環として槻川小学校のかがやきクラスと、本校の BC 組が共同農業体験としてサツマイモの苗の植え付けを行いました。地域の方々にご協力を頂いてこの農業体験は本年度で4回目となりました。今年度は児童生徒の数は少なくなりましたが、地域の方 3 名と、地域おこし協力隊2名の方、城西大学の先生と学生の方も加わり、とても賑やかに進めることができました。



快挙！人権作文

先日、人権作文審査会が行われ3年生の作品が比企地区の小中学生の代表に選ばれました。代表生徒は7月24日に所沢市で行われる西部地区人権教育実践報告会で発表し、その作品は人権教育文集「はばたき」に掲載されます。おめでとうございます。